

ACCESS My Class

アクセス マイクラス

常盤小学校
6年生(15人)



先生からのひとこと

三浦 亮一 先生

明るく個性豊かな6年生15人です。今年は、一人一人の発想や思いを大切に、学習や行事に取り組んできました。今は、卒業に向けて協力してがんばっています。

「明るく面白いクラス」

私たちのクラスはとても元気がいいクラスです。一人一人が明るく、個性的な人たちがばかりです。みんなのことを思いやるやさしい人や、小さい子が大好きな人、いつも面白いことを言う人、はたまた、面白いことを言おうとしてくれる人もいます。もちろん勉強を頑張っている人もいて、みんなテストでいい点が取れるように、日々努力しています。みんなといるといつもあきなく楽しいことばかりです。



常盤小学校6年生
水上 美優 さん
(細野)

首都圏だより

Letter from Metropolitan Area

「円照寺の六沢観音」

不思議な話ですが、知り合いにあの世のことまでわかる女性がいます。お会いしたときに言われたのは、「あなたの祖先は北の方角にある湖の近くに住んでおり、そのほとりの祠(ほこら)が粗末になっていた」とのこと。気になつて戸籍をたどってみると、最後に出てきた先祖が養子にされる前に「六沢」姓を名乗っていたということがわかりました。また、慈覚大師が湖のほとりの木から刻み、荒れた観音堂が移設されたとの話から、「最上三十三観音・円照寺の六沢観音」がその人の言つそれではないか、という考えに至りました。同じ時期に、「首都圏尾花沢会」との縁をいただくことにもなりました。

去年の夏のこと、実際に円照寺に足を運んでみました。そこはほとんど人の手がつけられていない、昔からの里山の原風景そのもの。夕暮れ時にご住職の奥様がわざわざ観音堂の鍵を開けてくださり、何度も麦茶をふるまってくれました。「観音さまは今が一番しあわせ」。車の中から小さくなって、見えなくなるまで手を振ってくれる奥様を振り返りながら、そう思ったのでした。



首都圏尾花沢会
阿相 浩司 さん

Jump はばたけ 中学生

ジャンプ!



尾花沢中学校1年
笹原 大揮 さん
(上町2)

「ドラムと共に歩む道」
私は小学3年生の時からドラムを習っています。ドラムを習うようになったきっかけは、父の知人がドラムを持っており、試しに叩いてみたところ、とても興味を持ったからです。初めてドラムを叩いてみた時は、手と足が思い通りに動かず、どのようにすればうまく動くのかと、何度も練習したのを覚えています。本気でドラムを練習したいと思い、両親に相談したところ、毎週土曜日の夕方に山形で習うことになりました。
中学生になり、部活動は吹奏楽部に入りました。パートは、パーカッションを担当しています。その中でドラムを中心に、色々な曲に取り組んでいます。

地域おこし協力隊

奮闘記

Face book ▶

尾花沢の魅力や地域おこし協力隊の活動報告を日々更新しています。ぜひご覧ください。



もうすぐ1年

こんにちは、尾花沢市地域おこし協力隊の松澤望です。
この記事が載った市報が配布されるのは2月ですので、皆様にとっては少し遅いとは思いますが、あけましておめでとございます。自分が尾花沢に来たのは昨年の4月。そろそろ1年になります。
今期は比較的暖冬らしく、雪が無ければ雪おろしなどなくて済みますが、個人的には1年目に「尾花沢の雪」を体験できないかもしれないというのが少し複雑です。自分は1月12日(日)、愛宕神社様参拝に参加させていただきました。参加者(今年は11人は暗くなってから禪、足袋、わらじを履き、自ら冷水をかぶって提灯または松明を持って社に参拝します。そして鳥居に自らの履いてきたわらじを掛けて帰ります。
今年は今までで最も雪が少ないうえ、気温も比較的高めだったこともあってか、思ったよりも辛くなく(もちろん相当に寒い思いはしましたが)、楽しみつつも良い経験することができました。



わらじを鳥居に掛けたあとは足袋で地面を歩くことになるので、それはさすがに堪えましたが……。また、個人的にもう一つ良かったと思うことがあります。それは祭りを通して地域の方々・参加者の方々とこの交流ができたことです。
実のところ自分は祭りというものにほとんど参加したことがなく、この裸参拝はわらじ作りから参加させていただき、祭りのあとの「直会」までの過程で、様々な方とお話しさせていただきました。
そこで見た、地域の方々の「祭り」という伝統に対する姿勢やその実践は今まで自分が触れることになかったもので、新鮮であると共に心温まるものでした。
改めて、参加して良かったと思います。



松澤隊員